

「デジタル・コンテンツ作成促進のための実演ワークショップ」(2010/12/22)

MEMO

倉館 健一 (MULC非常勤研究員)

I) Macがマルチメディアマルチリンガルコンテンツ制作に有利な点

- A) OS+アプリケーションがさくさく動作
64bitネイティブ動作。WinはWindow7で実現も周辺機器やアプリケーションに問題が多く、実質的に現在でも10年前のXPから変わっていない。
- B) マルチリンガルへの親和性が高い
- C) マルチメディア編集管理ソフトやPC本体が安価
ソフトウェアはWinは50~60万なのに対し、Macでは8千円程度。OS付属の機能も豊富。
- D) マルチメディアファイルが一括して管理できる
注) 各メディアの質の高いデータ管理がキモ
音楽、音声->iTunesで管理 (取り込み時にフォーマットが整えられる)
写真->iPhotoで管理
動画->iMovieで管理
テキスト->フォルダで管理
-> Winではソフトメーカーごとの互換性が乏しい

II) 音声ファイルとテキストファイルの混在について

- 注) 音声、写真、動画、テキストのメディアを混ぜたファイルの編集はほぼどんなアプリケーションでも可能。編集に重点を置くメディアからアプリケーションを選択。
- A) テキスト部分に音声ファイルへのハイパーリンクを設定。
テキストファイルとは別に音声ファイルを管理 (互換性が高まる)
- B) テキスト部分の横などにファイルとプレーヤーを埋め込む (互換性が低くなる)
中国語の例
- C) BGMとして操作なしに流すこともできる (通常は避けた方が親切 [止めたくても止められない])
- 注) iWebを使えば、様々なテンプレートから見栄えのいいWebページがあつという間にできる。
「見栄え」はフレームデザインや各要素の配置であり、フォント設定である。
ここではハイパーリンクを使うがWebでの使用を前提としない場合、WordやPowerpointでも同様に音声や写真は簡単に挿入できる (「挿入-オーディオ-サウンドブラウザ」から)

III) 写真からスライドショーを作成、テキストを追加

- A) iPhotoを使えば「スライドショーを作成」で音楽やテキストも簡単に追加できる。
インドネシア語の写真の例
- B) iMovieを使えばもっと細かい編集を加えられる
- C) Keynoteを使えばそれぞれの要素の動きをよりダイナミックにすることができる。
韓国語の海苔巻きの場合。規定のアクションを使うことでインスタントに処理が可能

IV) ビデオファイルの編集

- A) iMovieで取り込みから切り貼り、編集を行う
- B) 字幕やタイトルの挿入などは編集パレット画面から行う
インドネシア語スピーチコンクールの例